



まちづくりの実践
まち探検をすることで気づく

高浜小学校では、子どもたちが、自分たちでできることを考え、昨年に続き今年も防災マップをつくりました。まちづくり協議会の方の協力のもと、いっしょにまち探検。標高が低いところ、危険な場所、避難所はどこかなど、大人も子どもも自分の住んでいるまちを、歩いて確認する機会になりました。作成した防災マップは、グループでわかれてクイズや質問時間を交えて発表し、意見交換をしました。そして、地域の財産となっていかがされていきます。

「私たちの愛するまち
高浜市を未来へと
つなげていくために」
 (高浜市自治基本条例前文より)

そこで、まちづくり出前授業についてだけでなく覚えてくれているかなど、中学生のまちづくり活動への参加の状況などについてアンケートを実施したところ、27.3%の生徒が出前授業を覚えていてくれました。今後も、子どもたちの地域での活躍を期待しています。

中学生になっても忘れない
 6年生を対象に実施してきたまちづくり出前授業は、今年で全小学校実施4年目を迎えました。今の全中学生がまちづくり出前授業を経験したことになります。

まちづくり活動への参加に関するアンケート

調査対象は、全中学校の生徒。まちづくり協議会や地域の人が学校へ来て授業し、子どもたちがまちづくり活動の大切さや地域への思いを伝える授業を行いました。

質問	回答
1) 「まちづくり活動の大切さ」について「まちづくり活動は、地域を良くするために大切な活動だ」と思っていますか？	はい 15人 いいえ 1人
2) 出前授業を受けた後、まちづくり活動について話したり、調べたりしていますか？	はい 15人 いいえ 1人
3) 出前授業を受けた後、まちづくり活動について話したり、調べたりしていますか？	はい 15人 いいえ 1人
4) 出前授業を受けた後、まちづくり活動について話したり、調べたりしていますか？	はい 15人 いいえ 1人
5) 出前授業を受けた後、まちづくり活動について話したり、調べたりしていますか？	はい 15人 いいえ 1人

アンケートは以下です。資料はこちらをご覧ください。>>>

たかはまへの想いを育む



たかはまってお年寄りが元気だね。



とりめしが有名!

高浜中学校では、市長を学校に招いてまちづくりへの取組みを提案しました。

その後、まちづくりワークショップを行い、たかはまのいいところや、課題について意見を出しあい、たかはまが将来どんなまちになったらいいか、みんなで考えました。

中学生が考えるまちづくり



南中学校の生徒は、市役所を訪れて市長や担当職員にまちづくりについての疑問を質問しました。

また、クラスごとにテーマを決めて、たかはまをよりよいまちにするにはどうしたらいいか、話し合いました。



たかはまのごみの量はどれくらい?

市では、中学生からの「予算の使い方がわかりにくい」という声をもとに、「中高生でもわかる予算のつかいみち」を市公式ホームページのトップページに掲載しました。また、生徒たちから出た意見は現在策定作業を進めている第6次高浜市総合計画(後期基本計画)にも反映していきます。

